



国立療養所箱根病院附属リハビリテーション学院

〔所在地〕 〒250 神奈川県小田原市風祭412番地

〔電話〕 0465-22-8615

〔交通〕 新幹線、東海道線または小田急線小田原駅から箱根登山鉄道で2駅目の風祭駅下車。徒歩3分。

〔学科〕 理学療法学科・作業療法学科

〔学生数〕 約120名（各学科1学年定員20名）

〔募集人員〕 各学年20名

〔倍率〕

学科名	倍 率		
	56年度	57年度	58年度
理学療法学科	4.7	7.0	12.0
作業療法学科	5.1	8.3	12.7

〔修業年限〕 3年（昼間）

特 色

本学院は、リハビリテーション医療に関する高度の理論と技術を教授・研究するとともに、豊かな教養と人格を備えた医療技術者として、社会に貢献し得る人材を養成することを目的として、昭和56年4月1日国立療養所箱根病院に附設された。

小田原市郊外の風祭という交通至便で、しかも恵まれた自然環境の中に、病院に近接して建てられた3階建の学院は、病院との交流が円滑であり、学生も日常治療対象となる患者に接する機会が多く、自然とその雰囲気慣れることが出来る利点をもっている。また120名の学生全員を収容可能な学生寮も用意されていて、学生の経済的負担を軽くしており、集団生活をするにより学生間の連携を強め、協調性の育成にも役立っている。

教育設備として、理学療法士・作業療法士学校養成施設指定規則に定められた基準を満たしているのは勿論であるが、首都圏に近くひかえているため講師陣は充実しており、講義内容豊富で講義時間は指定規則をはるかに越えている。

本学院は歴史も浅く、まだ伝統というほどのものを持っていないが、それだけに教官も若く進取の気概にあふ

れ、学生もこれから我々が伝統を作っていくのだという強い自意識を持ち、勉学に励んでいる。

理学療法学科

3年生：男性9名、女性10名で神奈川県・静岡県出身者で大半を占めており、クラスはよくまとまっており、「性格でもっている3年、成績の2年」と言われているほど（真偽のほどは別として……）素直で、のんびりとした学生が多い。欠点としては積極性に欠ける面があることか。

2年生：男性11名、女性9名、出身別にみた場合、日本全国から集まって来ている。このクラスは時として「勇み足」があり、教官をドキリとさせることがあり、また臨床に出てからは、かなり伸びるのではないかと思われる学生が多い。

1年生：男性8名、女性12名。クラスの特徴といったものはまだ出ていない。高校の延長のような気分にいる者もみうけられ、早くプロ意識をもって欲しいと思っている。

作業療法学科

本学科の目的は有能な作業療法士を養成することにある。学生は専修学校として焦点を明確にされた教育計画を通し、専門分野の広く深い知識と技術、そして臨床での応用性を身につけていく。すなわち、専門職としての知識と理論的基盤、技術、そして医療職として必要な人格の統合をめざす。

明朗で暖かく、豊かな感受性と柔軟性を持ち、障害者の自立をできる限り援助出来る作業療法士としての能力を養うことは勿論であるが、同時に人間としての陶冶が強く望まれる。学生は高邁な理想を持ち、自己を見つめ、成長させることを求められる。教育環境の下では、学生1人1人の人格・個性および自主性が最大限に尊重される。

（理学療法学科 永井 淳一）

（作業療法学科 伊原 幸枝）